



東京全労協

2015年12月3日 79
東京都港区新橋6-7-1
川口ビル6F
TEL. 03 - 5403 - 1650
FAX. 03 - 5403 - 1653
発行人 瀬藤 朗
定価 1部 10円



今年の交流合宿は結成25周年の行事として取り組んだ(9月6日丸木美術館前)

東京全労協結成25年の闘い 闘うまともな労働組合をめざして 勝ち取った成果を運動に生かそう!

東京における「闘うまともな労働組合」を目指し、1990年10月24日東京全労協が結成され25年が経過しました。

今年度東京全労協は、25周年記念事業として、「各ブロック全労協役員交流」を開催しました。

各地域ブロックの取組は、地域に密着した様々な取組を広範な労働者に呼びかけ進めることにより、地域の労働実態や争議など多くの情報が集まり、情報を共有化し、地域労働者とお互いに助け合い、連携、協力、交流する場となっています。さらにブロック組織を強化させ、地域で闘いを進めている仲間の争議支援や大衆行動など迅速に取組める体制を確立する必要性や、役

全労協第27回定期大会

安倍自公政権 打倒を宣言!

全労協は、さる10月4・5日に第27回定期全国大会を開催し、1年間の闘いの総括を行い、向こう1年間の闘いの方針と新たな執行体制を確立させた。

国労・井村常幹の司会で議長団に伊藤稔・全水道東水労、菅野存・全国一般全

員の高齢化や組合員の減少により役員の担い手がいないなどの意見を出し合い討論を行い、対外的な情宣活動の強化や、職場地域へのオルグ活動の推進などを確認しながら交流しました。

東京全労協は、全国全労協の地方組織としての取組が両輪となり、争議解決、反戦平和などの取組で大きな成果を獲得しています。

一方で、組織人員の減少や事務局のありかたなどの組織財政の関係で、課題も多くあり、盤石な体制を整えることが必要であります。

こうした課題を解決すると同時に、引き続き、全労協の中心的な役割を担い30周年に向け取組を前進させる決意です。

東京全労協結成25周年記念行事に、全労協をはじめとした多くの組合員がご協力のおかげで心より感謝申し上げます。

国協の両代議員を選出し、金澤議長から「自公による戦争法や改悪労働者派遣法の強行採決・可決を糾弾し、全労協は安倍政権打倒の全国の闘いを広げる先頭に立ち、と挨拶が行われた。

つづいて5名の来賓の方々から連帯の挨拶を頂き、中岡事務局長と諸隈事務局長から経過報告、活動方針

16けんり春闘全国実行委員会 発足総会・学習集会!

大巾賃金引き上げ要求で人らしい生活を取り戻そう!

日時:2015年12月12日(土) 14:00~
会場:交通ビル 地下大会議室
(港区新橋5-15-5 交通ビルB1)
テーマ:「曲がり角に立つ日本社会(戦争と格差社会)と労働組合」
講師:鹿田勝一(労働ジャーナリスト)



案、決算・予算案の提起を受けて質疑討論に入った。14名の代議員が討論に立ち、NTT木下争議を闘う木下孝子さんから争議終結が報告された。また、全国一般東京東部労組の森川代議員から争議とストライキの闘い、全統一労組の佐々木代議員から井上眼科病院の不当解雇撤回の闘い、東京都学校ユニオンの増田代議員から都教委の分限免職との闘い、練馬全労協の真下代議員から地域の闘いがそれぞれ報告された。

翌日の討論では石油労組連絡会・全石油昭和シエル労組の権代議員から、脱原発プロジェクトの強化が訴えられた。猛暑の夏を闘い抜いた組合員の元気な討論で盛会となった。

中岡事務局長から「積極的な討論に感謝する、安倍政権打倒に向け総力を上げよう!」とまとめが行われ新旧役員挨拶の後、金澤議長は団結ガンバロウで闘いの決意をひとつにまとめ

副議長 中原純子

新組合結成、労働組合つづしを許さない！

三多摩ブロック報告

全国一般三多摩労働組合で2015年7月30日に結成した木村建設分会（本社羽村市）は、産業廃棄物処理を行う会社です。ここで働くダンプの運転手さんたち10数名が組合に加入しました。

しかし、社長は「労働組合を結成したことを許さない」「残業代請求するような奴には草むしりしか仕事をさせない」と怒鳴りまくり、組合員の身の安全を保障できないという、とんでもない理由で9月14日の労働委員会における立会い団体交渉の場で組合員全員に解雇通告をしてきました。労働委員会の委員も呆れるような明らかな不当労働行為です。



11月28日 三多摩全労協の支援を受け、統一行動を取り組んだ。

2014年7月に結成した白百合分会でもこの11月末をもって個人事業主の裁量権が与えられていない労働法上の労働者である「オーナー」の組合員に対して「契約を更新しない」という新たな不当労働行為が発生しました。これらの

分会はいずれも、雇用契約書が締結されていない、未払い残業代があるなど、労働基準法違反だらけのブラック企業において結成されました。

井上眼科病院解雇撤回！

12月16日 高裁判決へ

去る、7月16日。東京地方裁判所で井上眼科病院が行ったでつち上げの理由による不当解雇の判決が下された。

解雇は無効。社会通念上許されないとして、裁判所は正当な判断を下した。しかし、井上眼科病院は即日上告し、10月14日に上告審の初公判が行われた。裁判官から、井上眼科病院



労働組合つづし攻撃に負けないために、三多摩労働組合では不定期に統一行動を行い、三多摩全労協に支援を仰いでいます。11月28日にも朝8時から統一行動を行いました。よろしくご支援お願いいたします。

の証拠申請は全て却下すると告げられ、あつけなく閉廷してしまつた。

12月16日が判決日。以上のことを冷静に考えれば、裁判所は井上眼科病院が行つた解雇事件を反社会的行為として断罪しようとしていることが理解できる。しかしながら、井上眼科病院は全く反省していない。三井住友銀行から出向してきた者達は、井上賢治理事長が重大な決定に関して自ら判断することができない者であることを承知して、やりたい放題である。まあ、理事長自身も言われるがままそれを認めてきたのであるから当然同罪であるが、セクハラ・パワハラも見えて見ぬふりをしてきた。

理事長及びこの事件に係った者は、でつち上げの理由をつくりあげ、一人の人生を無茶苦茶にしようとしたのだから、重い罰を受けてもらわなければならない。

フジビは組合員の雇用を拒否！

和解交渉決裂！ 支援共は組合つづしを許さない！

偽装破産による倒産・全員解雇から3年のフジビ闘争は、14年1月結成の支援共闘会議が中心となり連続的に取り組んできた。



東部総行動で闘う組合員（12月1日）

社前集会や地域デモ、座り込み等の大衆行動により、フジビと田中一族を追い詰め、親会社（元請け）の責任として、子会社（下請け）で解雇された組合員をフジビが直接雇用せよとの要求を第一に掲げて闘ってきた。15年8月21日、フジビ会長が「雇用は条件次第」と発言後、4回に亘る粘り強い和解交渉が都労委を舞台に行われた。

しかし、11月19日にフジビは事実上雇用受け入れを拒否して和解交渉は決裂した。

交渉が決裂したのは19時半、その夜からフジビ社前に闘いのノボリ旗を立てる場所取りで会社側とつばぜり合いが始まり、翌日には赤いのぼり旗が二本、フジビ社前に立ち、また、支援共役員と当該10名で抗議の申し入れを行った。

12月1日に東部総行動で5ヶ月ぶりの社前決起集会と申入れ行動に取り組み、フジビと田中一族による組合つづしと下請け切捨てを許さずに団結して闘う決意です。ご支援を訴えます。

全労協全国一般東京労組
フジビグループ分会
中原純子

富士産業の人権侵害を許さない！

金町にこだまするデモ隊のシュプレヒコール！
11月20日パワハラ、いじめ、組合潰しを繰り返す富士産業（株）に対し争議解決を求める集会とデモを取り組みました。

初めてのデモでしたが約200名の仲間の結集を得て本社を大きく包囲することが出来ました。プロパンガス販売を生

争議が長引けば生活が苦しくなり途中で諦めるだろうと考えているようだが、こちらは引かない。一歩たりとも。近くその勝負がつきそうだ。



業とする富士産業は、関東近県に13営業所、ガス充填工場2ヶ所を構えています。職場ではここ数年人権侵害が繰り返され、さらに本年

に入り明らかに組合潰しを狙った書記長に対するパワハラ、分会長に対する子会社への不当配転が強行されました。

パワハラへの謝罪と配転撤回を求める団交で会社は不誠実な対応を繰り返しています。これ以上我慢出来ない私たちは、都労委申立を行う一方、現場での闘いを開始しました。

私たちはこの日のデモで支援・連帯を実感し大きく勇気づけられました。結果として頂いた皆さんに心より御礼申し上げます。全国一般・全労働者組合
富士グループ分会